

2023 年度
事業報告書

2023 年 4 月 1 日から
2024 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもと、「日本麻酔科学会中期・長期計画」ならびに事業計画に則り、各種事業を行った。

1. 役員 (2024年3月31日現在)

理事長(代表理事) 山蔭 道明(理事)

常務理事 小澤 章子(理事(副理事長)) 萬 知子(理事(副理事長))
川股 知之(理事) 田中 克哉(理事) 松本美志也(理事)

理事 荒川 穰二 井関 雅子 内田篤治郎 内野 博之
岡本 浩嗣 上林 卓彦 木下 真弓 杉田 道子
鈴木 孝浩 高雄由美子 寺嶋 克幸 富岡 俊也
長坂 安子 中島 芳樹 新山 幸俊 原 哲也
藤村 直幸 山浦 健

監事 廣田 和美 間宮 敬子 溝渕 知司

代議員 330名 (2024年3月31日現在)

赤田 信二 赤羽 日出男 秋吉 浩三郎 浅井 隆 朝井 裕一 麻生 知寿 足立 健彦
虻川 有香子 阿部 正 天谷 文昌 新井 丈郎 荒川 穰二 五十嵐 あゆ子 生田 義浩
池田 栄浩 池田 健彦 池野 重雄 石井 祥代 石川 慎一 石川 晴士 石川 真士
石田 高志 泉 薫 井関 雅子 市原 靖子 出井 真史 伊藤 伸子 伊東 義忠
稲葉 晋 井上 聡己 井上 莊一郎 猪股 伸一 今宿 康彦 伊良波 浩 岩崎 衣津
岩崎 達雄 岩崎 雅江 植田 健一 上田 朝美 上野 博司 魚川 礼子 内田 寛治
内田 篤治郎 内田 洋介 内野 博之 内山 昭則 宇野 太啓 梅垣 岳志 恵川 淳二
江木 盛時 枝長 充隆 大井 良之 大内 貴志 大江 克憲 大下 恭子 大田 典之
大高 公成 大瀧 千代 大槻 明広 大橋 一郎 大畠 博人 岡崎 純子 岡田 尚子
岡田 真行 岡本 浩嗣 岡安 理司 小川 幸志 奥 格 奥富 俊之 小澤 章子
忍田 純哉 尾関 奏子 小田 裕 小幡 典彦 小幡 由佳子 尾前 毅 折井 亮
甲斐 哲也 香川 哲郎 垣花 学 角田 奈美 梶川 竜治 糟谷 周吾 鹿瀬 陽一
香月 亮 加藤 里絵 香取 信之 上林 卓彦 辛島 裕士 川口 昌彦 川越 いづみ
川名 由貴 河野 崇 川股 知之 瓦口 至孝 神田 浩嗣 神田 恵 菊谷 健彦
木田 景子 北川 裕利 北野 敬明 北村 晶 北村 咲子 木下 真弓 金 徹
木村 哲 木村 信行 日下 裕介 榎方 哲也 葛本 直哉 久米 正記 倉橋 清泰
黒川 智 黒澤 伸 小泉 有美馨 小坂橋 俊哉 幸村 英文 小嶋 亜希子 小林 佳郎
小松 郷子 小松 孝美 小森 万希子 小山 薫 金 正 近藤 一郎 近藤 修
齋藤 繁 齊藤 達志 齊藤 仁志 佐伯 昇 酒井 陽子 阪口 雅洋 坂口 嘉郎
笹尾 潤一 笹野 信子 佐藤 健治 佐藤 哲文 佐藤 智行 佐藤 由美 讃岐 美智義
佐和 貞治 澤井 俊幸 澤村 成史 重松 研二 重松 次郎昌幸 重見 研司 信太 賢治
設楽 敏朗 篠塚 典弘 柴田 康之 渋谷 博美 島崎 睦久 清水 淳 下田 栄彦
生野 慎二郎 上村 幸子 白水 和宏 末廣 浩一 杉浦 健之 杉田 慎二 杉田 道子
杉本 祐司 鈴木 昭広 鈴木 健二 鈴木 孝浩 鈴木 健雄 鈴木 武志 鈴木 愛枝
須藤 貴史 瀬戸口 秀一 副島 由行 祖父江 和哉 田垣内 祐吾 高雄 由美子 高木 敏行

高澤 知規 高田 基志 高橋 麗子 田北 彰 田口 奈津子 竹内 護 武田 吉正
 多田 文彦 橋 一也 田中 克哉 田中 聡 田中 具治 田中 裕之 田中 基
 田辺 久美子 田辺 瀬良美 谷口 巧 谷口 由枝 谷本 宏成 玉井 久義 中條 浩介
 杖下 隆哉 辻田 美紀 堤 保夫 恒吉 勇男 角淵 浩央 坪内 宏樹 寺尾 嘉彰
 寺嶋 克幸 土井 克史 東條 健太郎 遠山 悟史 飛田 俊幸 戸部 賢 富岡 俊也
 富田 行成 外山 裕章 中井 希紫子 永川 保 長坂 安子 中嶋 康文 中島 芳樹
 長瀬 清 長田 大雅 中塚 秀輝 中西 美保 中根 正樹 中原 真由美 中平 淳子
 長嶺 祐介 中村 信一 中村 信人 中村 教人 中村 隆治 中本 あい 中山 禎人
 成松 紀子 名和 由布子 縄田 瑞木 新山 幸俊 西田 修 西原 佑 西部 伸一
 西脇 公俊 野間 秀樹 野村 岳志 野村 有紀 橋口 光子 服部 政治 馬場 洋
 濱崎 順一郎 早水 憲吾 原 哲也 原 将人 原武 義和 東 龍哉 東 美木子
 東 みどり子 日高 秀邦 尾頭 希代子 平井 裕康 平木 照之 平島 潤子 平田 直之
 平田 学 廣田 和美 廣田 弘毅 深田 祐作 藤井 洋泉 藤谷 太郎 藤野 裕士
 藤野 能久 藤村 直幸 藤原 亜紀 瀧上 竜也 干野 晃嗣 前田 倫 牧野 洋
 間嶋 望 増井 健一 増澤 宗洋 増田 美奈 松浦 正 松川 隆 松田 祐典
 松永 明 松本 重清 松本 晶平 松本 美志也 間宮 敬子 丸山 晃一 三尾 寧
 三島 康典 水野 圭一郎 水本 一弘 溝田 敏幸 溝淵 知司 美馬 裕之 御室 総一郎
 宮崎 信一郎 宮田 裕史 武藤 ひろみ 村上 衛 村田 寛明 室園 美智博 望月 利昭
 森 隆 森 美也子 森松 博史 森山 潔 安田 篤史 安田 善一 矢野 武志
 山内 正憲 山浦 健 山蔭 道明 山口 敬介 山下 敦生 山下 幸一 山下 創一郎
 山下 千鶴 山田 圭輔 山田 高成 山田 徳洪 山本 拓巳 横山 和明 吉田 千寿
 吉松 貴史 萬 知子 萬家 俊博 若泉 謙太 吾妻 俊弘 脇本 将寛 渡邊 至
 渡邊 恵介

2. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

(1) 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

(2) 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

(3) 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

(4) 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの他職種医療従事者と真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

(5) 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

3. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

(1) 公益目的事業

公1 学術事業・交流事業

麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業

公2 教育事業・安全事業

会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業

公3 公益事業

一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業

(2) 収益事業等

収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

(3) その他（管理運営部門）

4. 社員総会・理事会報告

第1回 理事会

1. 日 時：2023年4月28日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・東京事務局
3. 理 事：18名 監事：3名
4. 出席者：理事18名 監事3名 オブザーバー：17名

第13回 定時社員総会

1. 日 時：2023年5月31日（水）
2. 場 所：神戸ポートピアホテル南館 ポートピアホール
3. 社 員 数：334名
4. 理事現在数：18名
5. 理事出席者数：18名
6. その他出席者数：333名（うち委任状45名、議決権行使書55名）

第2回 理事会

1. 日 時：2023年8月25日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出席者：理事23名 監事：3名

第3回 理事会

1. 日 時：2023年11月24日（金）

2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・東京事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事23名 監事：3名

第4回 理事会

1. 日 時：2024年3月22日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事21名 監事：2名

第1回 臨時理事会

1. 日 時：2023年10月27日（金）
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局・東京事務局・WEB
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出 席 者：理事20名 監事：2名

5. 事業報告

(1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1，公2，公3にある事業を組織運営上，委員会に割り振り運営を行っている。

公1は，学術事業，交流事業であり担当委員会は，以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は，教育事業，安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・周術期管理チーム委員会
- ・安全委員会

公3は，公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

(2) 収益事業

収1は，医師賠償責任保険，所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は，学術集会開催時に附設展示会を実施した。

(3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き，運営を行った。

- ・総務委員会
- ・特定行為研修管理委員会/審査委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局
- ・ハラスメント対策室
- ・ダイバーシティ推進室
- ・利益相反委員会

各委員会の委員長は理事とし，統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

(1) 公益目的事業

<公1：学術・交流事業>

1) 学術委員会

【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し，あわせて

国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し、新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会（国民）へ還元する」ことを事業目的とし、中期および短期計画を立案し、その実行にあたる。学術事業戦略は、大きく“学術集会運営”，“機関誌，準機関誌の発行・頒布，査読編集”，“麻酔科学用語集の編集・発行”に分けられる。

【2023 年度報告】

2023 年度は、第 70 回学術集会は 6 月 1 日～3 日神戸会場開催，6 月 1 日～7 月 3 日 WEB のハイブリッド形式で開催した。第 71 回学術集会及び 2023 年度支部学術集会一般演題要項の見直し，2024 年度受賞学会賞の募集と審査，第 70 回学術集会における JA シンポジウムを実施し，第 70 回学術集会では一般演題とは別区分となるテーマ指定演題の募集を行い，症例報告を積極採択することで演題数増加を図った。第 71 回学術集会委員会企画の検討，2024 年度支部学術集会同会場検討，2025 年度支部学術集会会長の選定を行った。機関誌 JA，JACR 発行，ならびに機関誌の編集委託企業の適正を再度確認し，費用負担の推移を見守りながら現行の出版社を継続することを決定した。また，麻酔科医会連合をはじめとする海外団体とも共同し，本学会が主体となって International Conference on Anesthesia Patient Safety（以下，ICAPS）2024 年 2 月に開催にあたり，実行委員会で企画検討，準備，運営を行った。

★委員会開催回数 4 回（8 月 18 日，9 月 28 日，11 月 13 日，1 月 25 日），持ち回り審議回数 12 回

未完了事項：麻酔科学用語集改訂検討

2) 国際交流委員会

【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し，その中期および短期計画を立案，実行にあたる。

【2023 年度報告】

- ・第 70 回学術集会以て国際交流委員会企画「Current updates on perioperative management. "What is true today may be false tomorrow."」を実施した。
- ・海外への演者派遣の公募（ミクロネシアリフレッシュャーコース講師派遣）を行った。
- ・ASA へ演者派遣を行った。
- ・KoreAnesthesia2023 へ演者派遣と代表者派遣を行った。
- ・ニューズレターに国際交流委員会活動を掲載し，会員向けの広報活動を行った。
- ・2024 年度海外学会演者派遣公募を行った。
- ・第 72 回学術集会委員会企画を検討した。
- ・親善を目的に 2 年に 1 度の開催となる WCA において，加盟団体の国際交流担当による会議の開催を要請し，こちらに参加した。

★ 委員会開催回数 1 回（12 月 13 日）持ち回り審議回数 2 回 意見募集 1 回

3) 関連領域検討委員会

【業務内容】

関連領域検討委員会は、「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として，集中治療，救急医療，疼痛治療，緩和医療，心臓血管麻酔，産科麻酔，小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し，麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う。

【2023 年度報告】

2023 年度は，無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）から本学会にレミフェンタニルを用いた患者調節鎮痛（PCA）による無痛分娩に関する共同提言の作成が依頼され，産科麻酔領域検討部会が主体となって協力した。

日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）から本学会の派遣理事の推薦が依頼され，検討した。

日本麻酔科学会地域トレーニングサイトのコース開催日程を検討した。

第 72 回学術集会の委員会企画を検討した。

★ 委員会開催回数 0 回 持ち回り審議回数 12 回

<公2：教育・安全事業>

1) 教育委員会

【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため、認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医、指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識、判断力、技術を向上、維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。

また、非会員に向けた教育事業と連携し、多職種への教育普及、認定の実施、関連団体との折衝を実施し、周術期管理チーム医療の確立を目指す。

【2023 年度報告】

日本専門医機構専門医制度について機構との折衝、研修プログラムの募集・審査についての検討、専門医試験の作成と実施、専門医試験 PC 受験における運用等の検討、機構専門医制度、学会認定制度、学会から機構専門医への移行にあたっての検討、及び検討後の制度の変更、こちらに伴うシステム開発を行い、会員に周知、変更後の制度での運営、機構専門医休止申請の制度整備、機構専門医更新における共通講習必修講習 B の周知等の検討を実施した。また、教育ガイドラインの改訂作業、年次学術集会での専門医機構認定講習の実施と e-learning での配信、他団体での麻酔科領域講習委託請負実施、症例検討会（マンスリー・関西支部）の実施を行った。

★ 委員会開催回数 13 回（4 月、5 月、6 月、7 月、8 月、9 月、10 月 2 回、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月）

- ① 麻酔科認定医 新規審査
3 回の申請期間ごとに認定申請受付が行われ、各申請受付後に書類審査を実施し、認定を行った。
- ② 麻酔科認定医 更新審査
2023 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、更新認定を行った。
- ③ 麻酔科指導医 新規審査
2023 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、認定を行った。
- ④ 麻酔科専門医 新規審査
2023 年 5 月～6 月に認定申請受付、7 月～8 月に書類審査を行い、10 月、11 月に試験を行った。
- ⑤ 機構専門医 更新審査
2023 年 9 月～10 月に認定申請受付、11 月～2 月に書類審査を実施し、日本専門医機構が認定する専門医資格の事前審査を行った。

2) 周術期管理チーム委員会

【業務内容】

周術期管理チーム委員会では他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上、早期離床の実現を目指し、他職種非会員へ教材提供、セミナー開催を通して教育機会を設け、その効果を筆記試験、継続した講習会受講により認定する。

【2023 年度報告】

- ・第 70 回年次学術集会ならびに支部学術集会に併催する形で周術期管理チームセミナーを開催し、後日 e-learning で配信
- ・次年度の各種セミナーの検討と決定
- ・筆記試験問題の検証、本年度試験問題の作成

- ・周術期管理チーム看護師新規認定審査，周術期管理チーム薬剤師新規認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士新規認定審査，周術期管理チーム看護師更新認定審査，周術期管理チーム薬剤師更新認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士更新認定審査，周術期管理チーム看護師再認定審査，周術期管理チーム薬剤師再認定審査，周術期管理チーム臨床工学技士再認定審査
- ・「術後疼痛管理チーム加算」に対応した研修の提供開始，研修修了認定審査，追加コンテンツの作成と配信
- ・周術期管理チーム認定ホームページに認定制度まとめページを新設
- ・e-learning 新視聴サイトの構築，移行
- ・各団体との意見交換

★ 委員会開催回数 1回，持ち回り審議回数 5回

① 周術期管理チーム認定資格 新規審査

2023年5月15日～6月30日に認定申請受付，7月～9月に書類審査，11月18日に筆記試験を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の新規認定を行った。

② 周術期管理チーム認定資格 更新審査

2023年10月2日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の更新認定を行った。

③ 周術期管理チーム認定資格 再認定審査

2023年10月2日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，看護師，薬剤師，臨床工学技士の再認定を行った。

3) 安全委員会

【業務内容】

安全委員会は，麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い，さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は，大きく4つの部門，統計調査・情報収集部門，麻酔関連機器部門，薬剤および麻酔手技部門，リスクマネジメント部門に分けられる。

【2023年度報告】

今年度におけるガイドラインの作成進捗は以下の通りである。

- ・全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針 →完成
- ・麻酔関連業務における特定行為研修修了看護師の安全管理指針 →完成
- ・高齢者の麻酔ガイドライン →改訂中
- ・第4版医薬品ガイドラインの改訂 →改訂中
- ・悪性高熱症管理ガイドライン →改訂中
- ・術前絶食ガイドライン →改訂中
- ・危機的出血への対応ガイドライン →改訂中
- ・全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン →作成中
- ・臨床工学技士に関する安全管理指針 →作成中

その他の事業については下記の通りである。

1. 医薬品適正評価対策専門部会 関連

- ・レミマゾラムの消化器内視鏡時の鎮静に適用する申請について検討

2. 麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会

- ・会員からのインシデント報告に対する調査、周知

3. ICD 制度協議会運営 WG 関連

- ・2023年度開催 ICD（インфекションコントロールドクター）講習会の申請（承認済み）

4. CCP 専門部会 関連
 - ・麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等
5. APSF ニュースレター日本語版作成 WG 関連
 - ・APSF ニュースレター日本語版（2023 年 2 月号）発刊
6. その他
 - ・第 72 回学術集会の委員会企画の検討

★委員会開催回数 1 回(12 月) 持ち回り審議回数 15 回

<公 3 : 公益事業>

1) 広報委員会

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き、本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の対象は一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に分けられる。

【2023 年度報告】

第 70 回学術集会における WEB 配信用医学生・研修医（初期）向けコンテンツ作成と配信、第 71 回学術集会ならびに第 72 回学術集会の医学生招待計画の検討、メディアからの問い合わせ対応や重要ニュースの掲載、ニュースレターの企画・校正・発刊、毎月のメルマガ配信等を行った。

また、麻酔の日のエッセイ募集と審査、ノベルティグッズの配布（適宜）、麻酔のしおりの改訂と動画の完成、よくある術前合併症解説の学会ホームページ掲載、近畿麻酔科医界（関西支部）の発行、年報（九州支部）の発刊、支部広報誌の廃刊の検討、学会ホームページの見直しを行った。

★委員会開催回数 2 回、持ち回り審議回数 12 回

2) 麻酔博物館委員会

【事業概要】

麻酔に関する資料を収集、収蔵し、麻酔科医ならびに麻酔の歴史を博物館に展示、国民への普及啓発を行う。

【2023 年度報告】

・書籍、文書保存、書籍の整理(棚卸・製本・不要書籍の廃棄処分) ・麻酔博物館寄贈品の選定と受入れ

- ・神戸 SDG s プログラム等団体見学受け入れ
- ・博物館インタビュー実施
- ・各大学の麻酔科学教室の沿革情報収集
- ・第 71 回学術集会中特別展示実施
- ・第 71 回学術集会博物館委員会企画実施
- ・第 72 回学術集会博物館委員会企画検討
- ・来館者アンケートの整備

★ 委員会開催 なし
未完了事項 「麻酔の日」のための特別開館

(2) 収益事業

<収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

<収2>

第70回年次学術集会において、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施、本学会会場での展示小間とWEB広告スペースを提供した。

(3) その他(管理運営部門)

1) 総務委員会

【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。また、教育事業ともなる周術期管理チーム認定制度運営に関し、他団体連携の管理を行いつつ、周術期特定行為研修事業の取りまとめをあわせて行う。本学会の将来あるべき法人の姿を検討するため、将来構想の策定や渉外活動を担当する。

【2023年度報告】

社会保険部会では、年次学術集会における委員会企画(診療報酬フォーラム)の実施と次年度企画の検討、供給停止予定品目の検討、周術期特定行為パッケージ研修の実施(以下、詳細)、会則の改廃確認、令和6年度診療報酬改定に向けた要望項目の整理、と申請内容の説明、2024年度名誉会員の推薦受付、審査を行った。また、前年に引き続きCOVID-19による本学会認定施設が受けた影響を調査し、「2023年度門田分担班・新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究」の結果を集計した。その他、不採算薬価改定を要望する企業への協力、医師の働き方改革の水準の検討、本学会が70周年を迎えるにあたり、70周年記念事業検討WGを設置し、事業内容の検討を行った。さらに、法人の在り方や方針を検討するため、将来構想WGを設置した。

★ 委員会開催回数1回:(2月)持ち回り審議回数 3回

2) 特定行為研修管理委員会/特定行為研修審査委員会

【業務内容】

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的とし、「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を実施する。正しい知識を持った麻酔科専門医の指示により、十分な研修を受けた看護師が特定行為を実施することを実現するため、本学会が指定研修機関となり、本学会認定病院を協力施設とした体制下で研修(本学会が提示する手順書モデルに沿い、各認定病院施設で複数の特定行為研修)を適切に実施し、自立してケアを行える看護師を育成する。

【2023年度報告】

4月に受講者が研修を開始出来るよう、協力施設の受付、受講者申請の受付を行い、審査を行った。当年度の研修について進捗管理および修了審査を行った。E-learningコンテンツ提供企業と連携し、共通科目、区分別科目の教材提供、提供システムの改善点の検討、運営、指定研修機関としての管理事項の検討を行い、進捗管理として面接含む運営を行った。

3) 財務委員会

【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には、学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財

務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状分析、および将来的予測から、正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持し、地震など災害発生時にも事業継続を可能とするような計画を立案する。

【2023 年度報告】

2022 年度決算、2023 年度各月月締め決算検討、年次学術集会単体決算について適宜検討、経理承認と必要な確認等を行った。

★ 委員会開催回数 9 回（4 月、6 月、8 月、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月）

4) 倫理委員会

【業務内容】

倫理委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合、その処分を含む対応について検討する

【2023 年度報告】

「相互接続防止コネクタ(小口径コネクタ) 導入によって神経麻酔の安全性は向上したか」
「麻酔博物館に関するアンケート」
「新型コロナウイルス感染症の日本の麻酔診療への影響に関する調査」
「支部学術集会アンケート」
「麻酔博物館来館見学者アンケート」
「ICAPS2024 大会後アンケート」
以上、6 件の倫理審査を実施した。

会議においては、合計 7 件の審議を行った。概要は以下の通りとする。

- ・詐欺罪により医師免許取消の処分を受けた件の会員の処分案について。
- ・児童保護に関する法律違反により行政処分を受けた件の会員の処分案について。
- ・第三者供賄により行政処分を受けた件の会員の処分案について。
- ・公電磁的記録不正作出及び詐欺により行政処分を受けた件の会員の処分案について。
- ・許可なく学術集会で物を配布、販売した件の会員の処分案について。
- ・麻酔科医として医療脱毛クリニックに名義貸しを件の会員の処分案について。
- ・名誉毀損により行政処分を受けた件の会員の処分案について

★委員会開催回数 3 回（8 月、9 月、12 月）持ち回り審議回数 4 回

5) 事務局

【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する、と規定されるとともに、事務局長は理事の中から理事会が選任すること、事務長及び所要の職員を置くこと、と規定されている。

【2023 年度報告】

新入会者の審査、2022 年度事業報告、2024 年度事業計画、会員管理システム改修についての検討などを行った。

会員管理システム改修については開発ベンダーとの要件定義後、基本設計、詳細設計、外部結合・総合試験等を進めたが、要件定義されていない部分が見つかり、見直しが必要となり、リリース時期の再検討を行なった。会議においては事務局の担当委員および会員管理システム改修 WG、U40 が会員を代表して検討を進め、特に会員利用の観点からの要望や確認を行った。予定していた 2024 年 4 月のリリースは見送り、2024 年度も再要件定義、設計開発を実施する。

U40 では twitter の運用、上記会員管理システム改修事業について検討、第 70 回学術集会

のブース展示などを行った。

JSA-PIMS WG が、安全委員会から事務局直下のワーキンググループとなり、改修に向けての検討を行った。2022 年度中の変更であり、PIMS に関する報告事項は安全事業の安全委員会内で記載する。改修に向けての JSA-PIMS のあり方についての検討は 2023 年度も継続して検討を行い、JSA - PIMS とこちらを使用した事業について引き継ぐこととした。

会議利用をメインとしていた東京事務局のスペース拡大と移転を行い、常駐事務員 2 名の雇用と運営を開始した。COVID-19 の 5 類移行、事務スペースの拡大を以て、本法人の会議の在り方を検討した。

★ 委員会開催数 3 回（4 月，11 月，3 月）

6) ハラスメント対策室

【業務内容】

組織の運営を円滑にするためのハラスメント防止策を検討する。

【2023 年度報告】

ハラスメントに関する「秘密保持誓約書」について、理事・監事に秘密保持誓約書の提出、ならびに事務局員に対して実態調査を実施した。

★委員会開催回数 0 回

7) ダイバーシティ推進室

【業務内容】

学会の代議員や委員会委員に女性を増やす等の計画・立案・実施・検証を行う。

【2023 年度報告】

2023 年度支部学術集会大会長に、座長の女性登用の依頼を実施した。また、各医育機関へ女性・若手候補者を提出いただき、女性・若手登壇・座長候補者リストを作成し、第 70 回学術委員会一般演題座長選定時に活用の依頼を実施した。次期理事候補者へ次期委員会、部会等に女性メンバー登用の依頼を実施した。

★委員会開催回数 0 回

8) 利益相反委員会

【業務内容】

利益相反委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる利益相反について検討する。学会や会務に関わる会員および、非会員に利益相反が生じた場合、その処分を含む対応について検討する。

【2023 年度報告】

新規ガイドライン WG の利益相反調査を実施した。

★委員会開催回数 0 回

9) その他

【登録・派遣】

日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構麻酔科領域研修委員会，日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会，外科関連学会協議会，外科系医学会社会保険委員会連合，日本外科系連合学会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3 学会合同呼吸療法士認定委員会，日本歯科麻酔学会，全国 MC 協議会連絡会世話人会，全国医療安全共同行動，禁煙推進学術ネットワーク，日本医療安全調査機構，肺血栓塞栓症専門分析部会，中心静脈カテーテルに関する専門分析部会，ICD 制度協議会，医療ガス設備等安

全確保に係る問題検討委員会，ISO/TC121 国内委員会，JIS 原案作成委員会委員，人工臓器治療関連学会協議会，臓器移植関連学会協議会，緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会，日本母体救命システム普及協議会，無痛分娩関係学会・団体連絡協議会，プログラム開発・改訂委員会，研修企画委員会，インストラクター育成委員会，認定委員会，学術委員会，幹事会，WFSA，AARS 等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援を行った。

6. 2023 年度委員会委員等一覧

<事務局（神戸事務局・東京事務所）> 担当常務理事：萬 知子

事務局 長：萬 知子

副事務局 長：磯野 史朗 杉田 道子

事務局：内田 寛治 大瀨 千代 小澤 章子 讃岐 美智義 澤 智博

田村 岳士 長瀬 清 藤野 裕士

オブザーバー：足立 健彦 上村 裕一 白石 義人 多田 恵一

◆ U40/ITF (Interactive Task Force)

WG 長：田村 岳士

副 WG 長：出野 智史 武田 親宗

オブザーバー：磯野 史朗 杉田 道子 萬 知子

メンバー：石原 大雅 宇賀田 圭 衛藤 由佳 川久保弥知

河野 裕美 佐藤 威仁 佐藤 恒久 遠山 光

水野 彰人 山田 康貴 山本 知裕

◆ JSA-PIMS ワーキンググループ

WG 長：澤 智博

副 WG 長：磯野 史朗

メンバー：石原 大雅 宇賀田 圭 内田 寛治 内田篤治郎 岡本 浩嗣

奥田 泰久 小澤 章子 川股 知之 北川 裕利 蔵谷 紀文

坂口 嘉郎 佐藤 威仁 讃岐美智義 鈴木 昭広 鈴木 康之

武田 親宗 田中 克哉 富岡 俊也 長瀬 清 中塚 秀輝

藤村 直幸 増井 健一 松本美志也 水野 彰人 山田 康貴

山本 知裕

◆ 肺塞栓ワーキンググループ

WG 長：武田 親宗

メンバー：垣花 学 北 貴志 枝長 充隆 佐藤 哲文 藤村 直幸

増井 健一

外部委員：杉村 基 山本 尚人 山下 侑吾 池田 正孝 川口 龍二

根木 玲子 藤田 悟

オブザーバー：小澤 章子

◆ 会員管理システム改修ワーキンググループ

WG 長：讃岐美智義

副 WG 長：長瀬 清

メンバー：磯野 史朗 内田 寛治 小澤 章子 澤 智博

杉田 道子 田村 岳士

オブザーバー：萬 知子

<ハラスメント対策室> 責任者：山蔭理事長

室 長：高雄由美子

委員：濱田 宏

オブザーバー：顧問弁護士

<ダイバーシティ推進室> 責任者：山蔭理事長

推進室長：高雄由美子

副室長：木下 真弓

室員：近江 禎子 大瀧 千代 川股 知之 藤野 裕士 増田 美奈
森 隆 萬 知子

<利益相反委員会> 責任者：山蔭理事長

委員長：山浦 健

委員：北川 裕利 小森万希子 森本 裕二

オブザーバー：恒吉 勇男 顧問弁護士

<選挙管理委員会> 責任者：山蔭理事長

委員長：上村 裕一

委員：白石 義人

<常置委員会>

総務委員会 担当常務理事：小澤 章子

委員長：小澤 章子

副委員長：荒川 穰二

委員：内田 寛治 梅垣 修 川口 昌彦 北川 裕利 宮津 光範

内野 博之

オブザーバー：齋藤 繁

[社会保険部会]

部長：内田 寛治

部会員：天谷 文昌 荒川 穰二 桑内 亜紀 鈴木 康之

塚田さよみ 宮津 光範 山本 俊介

オブザーバー：藤野 裕士

[会則検討部会]

部長：北川 裕利

部会員：大江 克憲 川越 いづみ 小森 万希子 鈴木 武志

松本美志也

オブザーバー：西脇 公俊

財務委員会 担当常務理事：松本美志也

委員長：松本美志也

副委員長：寺嶋 克幸

委員：小坂橋俊哉 長瀬 清

オブザーバー：山田 高成

倫理委員会 担当常務理事：萬 知子

委員長：山浦 健

副委員長：中島 芳樹

委員：田口奈津子 伊藤 伸子

オブザーバー：恒吉 勇男

学術委員会 担当常務理事：川股 知之

委員長：川股 知之

副委員長：新山 幸俊 原 哲也

委員：天谷 文昌 江木 盛時 小田 裕 鈴木 昭広 関 博志

[第71回学術集会実行委員会]

委員長：松本美志也

副委員長：小板橋俊哉

委員：内田 寛治 加藤 里絵 榑方 哲也 鈴木 康之 祖父江和哉
高澤 知規 田中 克哉 堤 保夫 長瀬 清 新山 幸俊

◆ 循環 WG

WG 長：田中 克哉

メンバー：秋吉浩三郎 辛島 裕士 北川 裕利 下川 亮 平田 直之
横塚 基

◆ 呼吸 WG

WG 長：内田 寛治

メンバー：北村 祐司 金 史信 高木 俊介 馬場 靖子 吉田 健史

◆ 神経 WG

WG 長：榑方 哲也

メンバー：荻野 祐一 神里 興太 紙谷 義孝 合谷木 徹 森 隆
山下 敦生

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之

産科 WG 長：加藤 里絵

メンバー：安藤 一雄 小原崇一郎 杉田 道子 田辺瀬良美 名和由布子
松田 祐典 宮津 光範

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：新山 幸俊

メンバー：須藤 貴史 住谷 昌彦 原田 英宜 山内 正憲

◆ 救急・ICU WG

WG 長：祖父江和哉

メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 江木 盛時 大藤 純 徳平 夏子
中根 正樹

◆ 麻酔科関連-1 WG

WG 長：堤 保夫

メンバー：伊藤 健二 枝長 充隆 大田 典之 鈴木 孝浩 高橋 完
東みどり子

◆ 麻酔科関連-2 WG

WG 長：高澤 知規

メンバー：井上 聡己 小田 裕 関 博志 恒吉 勇男 長谷川麻衣子

◆ 麻酔全般 WG

WG 長：長瀬 清

メンバー：大槻 明広 黒澤 温 坂口 嘉郎 谷 真規子 原 哲也
山田 高成

[第72回学術集会実行委員会]

委員長：小板橋俊哉

副委員長：山蔭 道明

委員：井上 敬 内田 寛治 江木 盛時 小田 裕 加藤 里絵
合谷木 徹 鈴木 孝浩 鈴木 康之 新山 幸俊 平田 直之
山田 高成

◆ 循環 WG

WG 長：平田 直之

メンバー：秋吉浩三郎 下川 亮 田村 高廣 横塚 基 吉川 裕介

◆ 呼吸 WG

WG 長：内田 寛治

メンバー：川越いづみ 河村 岳 金 史信 田垣内祐吾 竹内 宗之

- 吉田 健史
- ◆ 神経 WG
 W G 長：合谷木 徹
 メンバー：荻野 祐一 神里 興太 櫛方 哲也 古藤田真和 古谷 健太
 山下 敦生
- ◆ 小児・産科 WG
 小児 WG 長：鈴木 康之
 産科 WG 長：加藤 里絵
 メンバー：青山 和由 岡田 尚子 狩谷 伸享 君塚 基修 杉田 道子
 谷口 由枝 名和由布子 野口 翔平 原 哲也 宮津 光範
- ◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG
 W G 長：新山 幸俊
 メンバー：須藤 貴史 住谷 昌彦 原田 英宜 山内 正憲 山口 重樹
 若泉 謙太
- ◆ 救急・ICU WG
 W G 長：江木 盛時
 メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 大藤 純 甲斐 慎一 佐藤 暢一
 関野 元裕
- ◆ 麻酔科関連-1 WG
 W G 長：鈴木 孝浩
 メンバー：伊藤 健二 印南 靖志 香取 信之 長坂 安子 水谷 光
- ◆ 麻酔科関連-2 WG
 W G 長：小田 裕
 メンバー：井上 聡己 恵川 淳二 木倉 睦人 末廣 浩一 関 博志
 高澤 知規
- ◆ 麻酔全般 WG
 W G 長：山田 高成
 メンバー：大槻 明広 黒澤 温 近藤 一郎 坂口 嘉郎 谷 真規子
 長瀬 清

[麻酔科学用語専門部会]

部会長：新山 幸俊
 部会員：枝長 充隆 岡本 浩嗣 小竹 良文 志馬 伸朗 角倉 弘行
 遠山 悟史 増井 健一 益田 律子

[機関誌専門部会]

部会長：原 哲也
 部会員：天谷 文昌 磯野 史朗 市瀬 史 小田 裕 垣花 学
 川口 昌彦 鈴木 武志 照井 克生 新山 幸俊 東みどり子
 オブザーバー：内田篤治郎

[Journal of Anesthesia Editorial Board]

Editor-in-Chief：天谷 文昌
 Associate Editor-in-Chief：浅井 隆
 Section Editor：青山 和由 (Pediatric Anesthesia)
 浅井 隆 (Airway)
 内田 寛治 (Respiratory Medicine)
 江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)
 小田 裕 (Clinical Reports)
 小原 伸樹 (Clinical Monitoring)
 河野 崇 (Clinical Pharmacology)
 櫛方 哲也 (Neuroscience)
 末廣 浩一 (Perioperative Assessment and Management)

高澤 知規 (Social Problem, Education, and Economics)
田中 聡 (Pain Medicine)
平田 直之 (Cardiovascular Medicine)
堀田 訓久 (Regional Anesthesia)
増井 健一 (Statistics)
松田 祐典 (Obstetric Anesthesia)
Editorial Board : 角倉 弘行
山蔭 道明

[JA Clinical Reports Editorial Board]

Editor-in-Chief : 小田 裕
Section Editor : 青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 磯野 史朗 井上 莊一郎
内田 寛治 江木 盛時 小原 伸樹 垣花 学 川口 昌彦
河野 崇 櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行
高澤 知規 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 堀田 訓久
増井 健一 松田 祐典 山蔭 道明

〔「麻酔」編集会議〕

委員 : 磯野 史朗 小竹 良文

〔学術研究推進 WG〕

WG 長 : 原 哲也
メンバー : 江木 盛時 関 博志 松田 祐典

[International Conference on Anesthesia Patient Safety 2024]

大会 長 : 萬 知子
委員 長 : 長坂 安子
副委員 長 : 江木 盛時
財務担当委員 : 森田 潔 山田 高成
運営担当委員 : 内田 寛治 茶木 友浩 中澤 春政 廣田 和美
プログラム担当委員 : 青山 和由 衛藤 由佳 小澤 章子 小原 伸樹 加藤 里絵
小板橋 俊哉 澤 智博 仙頭 佳起 祖父江 和哉 谷 真規子
宮坂 清之 山内 正憲 吉川 裕介
アドバイザー : 飯田 宏樹 武田 純三

国際交流委員会

担当常務理事 : 萬 知子
委員 長 : 長坂 安子
副委員 長 : 川越 いづみ
委員 : 青山 和由 仙頭 佳起 加藤 里絵 尾頭 希代子 藤田 信子
山田 高成

関連領域検討委員会

担当常務理事 : 田中 克哉
委員 長 : 岡本 浩嗣
副委員 長 : 井関 雅子
委員 : 奥富 俊之 角倉 弘行 中嶋 康文 谷口 巧 谷口 由枝
西田 修 山口 重樹 水野 圭一郎

<領域検討部会>

〔集中治療〕

部会 長 : 西田 修
部会 員 : 内山 昭則 垣花 泰之 黒田 泰弘 志馬 伸朗 松田 直之

〔ペイン〕

部会 長 : 井関 雅子
部会 員 : 上野 博司 濱口 眞輔 平川 奈緒美 渡邊 恵介

〔緩和〕

部会 長 : 山口 重樹

部 会 員：天谷 文昌 佐藤 哲観 橋口さおり 松本 禎久
〔救急〕

部 会 長：谷口 巧

部 会 員：黒田 泰弘 志馬 伸朗 成松 英智 鈴木 昭広

外 部 委 員：木村 昭夫 坂本 哲也

〔心臓血管麻酔〕

部 会 長：中嶋 康文

部 会 員：大西 佳彦 川口 昌彦 野村 実 能見 俊浩

〔産科麻酔〕

部 会 長：奥富 俊之

部 会 員：上山 博史 狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行 照井 克生
中島 芳樹

〔小児麻酔〕

部 会 長：谷口 由枝

部 会 員：香川 哲郎 川人 伸次 鈴木 康之 岩崎 達生

◆ ECC 講習会支部担当責任者 WG

W G 長：高橋 伸二（東京・関東甲信越）

メ ン バ ー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 山崎 潤二（畿北）

羽場 政法（関西） 堤 保夫（中国） 田代 尊久（九州）

オブザーバー：田勢長一郎 多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

W G 長：川前 金幸

メ ン バ ー：鈴木 昭広 原 哲也 水本 一弘

教育委員会

担当常務理事：田中 克哉

委 員 長：田中 克哉

副 委 員 長：恒吉 勇男 富岡 俊也

委 員：大槻 明広 倉橋 清泰 坂口 嘉郎 佐和 貞治 鈴木 武志

堤 保夫 森 隆

オブザーバー：内野 博之 中塚 秀輝 原 哲也

◆ 専門医研修プログラム検討 WG

W G 長：富岡 俊也

メ ン バ ー：大槻 明広 小出 康弘 水本 一弘 山口 重樹

◆ サイトビジット研修プログラム評価制度 WG

W G 長：川口 昌彦

メ ン バ ー：垣花 学 坂口 嘉郎 新山 幸俊

◆ CBT WG

W G 長：佐和 貞治

メ ン バ ー：江木 盛時 澤村 成史 恒吉 勇男 寺嶋 克幸

オブザーバー：坂口 嘉郎

〔専門医試験あり方検討部会〕

部 会 長：田中 克哉

部 会 員：大槻 明広 川口 昌彦 坂口 嘉郎 佐和 貞治 恒吉 勇男

富岡 俊也

〔認定審査委員会〕

委 員 長：田中 克哉

副 委 員 長：倉橋 清泰 鈴木 康之 恒吉 勇男 森 隆

オブザーバー：内野 博之

〔第1部会（専門医認定）〕

部 会 長：恒吉 勇男

部 会 員：櫛方 哲也 倉橋 清泰 坂口 嘉郎 堤 保夫 戸田雄一郎
富岡 俊也
オブザーバー：原 哲也

<筆記試験>

問題作成責任者：新山 幸俊
メンバー：朝元 雅明 井口 直也 石田 裕介 北村 咲子 櫛方 哲也
白水 和宏 鈴木 武志 祖父江和哉 田中 聡 堤 保夫
松木 悠佳 溝田 敏幸
オブザーバー：田中 克哉

<口頭試験>

問題作成責任者：田中 克哉
メンバー：江島 豊 神田 浩嗣 小山 薫 澤田 敦史 鈴木 昭広
橋 一也 谷 真規子 寺嶋 克幸 長坂 安子 平田 直之
藤井 啓介 森 隆 森山 潔
オブザーバー：倉橋 清泰

[第2部会(指導医認定)]

部 会 長：鈴木 武志
部 会 員：大槻 明広 小出 康弘 多田羅恒雄

[第3部会(認定医,認定施設認定)]

部 会 長：森 隆
部 会 員：香取 信之 澤村 成史 祖父江和哉 山浦 健

[第4部会(研修プログラム認定)]

部 会 長：倉橋 清泰
部 会 員：大槻 明広 加藤 里絵 小山 薫 鈴木 健二 橋口さおり
オブザーバー：小森万希子 中塚 秀輝

安全委員会

担当常務理事：小澤 章子
委 員 長：藤村 直幸
副 委 員 長：祖父江和哉
委 員：枝長 充隆 奥田 泰久 西部 伸一 水本 一弘 山内 正憲

[偶発症例(肺塞栓)専門部会]

部 会 長：垣花 学
部 会 員：枝長 充隆 北 貴志 佐藤 哲文 藤村 直幸 増井 健一

[医薬品適正評価対策専門部会]

部 会 長：祖父江和哉
部 会 員：岩崎 達雄 川越いづみ 原 哲也 平木 照之 美馬 裕之
オブザーバー：山浦 健

[CCP 専門部会]

部 会 長：奥田 泰久
部 会 員：吾妻 俊弘 杉田 道子 西部 伸一 山口 重樹

[麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会]

部 会 長：小澤 章子
部 会 員：佐和 貞治 中島 芳樹 水本 一弘

◆ 医薬品ガイドライン改訂 WG

W G 長：山浦 健

- メンバー：垣花 泰之 加藤 里絵 川股 知之 合谷木 徹 坂口 嘉郎
 白水 和宏 鈴木 孝浩 田中 克哉 戸田雄一郎 中島 芳樹
 原 哲也 山口 重樹
- ◆ ICD 制度協議会運営 WG
 W G 長：稲垣 喜三
 メンバー：小澤 章子 白石 義人 田口奈津子 森本 裕二
- ◆ APSF ニュースレター日本語版作成 WG
 W G 長：祖父江和哉
 メンバー：飯田 宏樹 川越いづみ 酒井 陽子 澤 智博 仙頭 佳起
 田辺久美子 藤本 陽平 安田 篤史 福田 征孝
- ◆ 周術期禁煙推進ワーキンググループ
 W G 長：飯田 宏樹
 メンバー：甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴
 米倉 寛
- ◆ 全身麻酔からの覚醒・抜管を安全に行うためのガイドライン作成 WG
 W G 長：磯野 史朗
 メンバー：小竹 良文 鈴木 康之 加藤 里絵
- ◆ 高齢者の麻酔ガイドライン作成 WG
 W G 長：川股 知之
 メンバー：恵川 淳二 川口 昌彦 河野 崇 立花 俊祐 新山 幸俊
 藤井 啓介
- ◆ 特定行為に関する安全性の検討 WG
 W G 長：藤村 直幸
 メンバー：小澤 章子 北川 裕利 長坂 安子 中村 京太 横山 健
 萬 知子
- ◆ 小口径コネクタの影響検討 WG
 W G 長：斎藤 淳一
 メンバー：海法 悠 小嶋 大樹 野口 智子 溝渕 知司
- ◆ 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針作成 WG
 W G 長：讃岐美智義
 メンバー：小原 伸樹 木山 秀哉 柴田 康之 中西 美保 藤村 直幸
 外部委員：鎮西 清行
- ◆ 悪性高熱症管理ガイドライン改訂 WG
 W G 長：堤 保夫
 メンバー：向田 圭子 市原 靖子 三好 寛二 長坂 浩 安田 季道
- ◆ 危機的出血への対応ガイドライン改訂 WG
 W G 長：香取 信之
 メンバー：枝長 充隆 田村 高廣 崎村正太郎 斎藤 淳一
- ◆ 臨床工学技士に関する安全管理指針 WG
 W G 長：藤村 直幸
 メンバー：小澤 章子 北川 裕利 長坂 安子 中村 京太 横山 健
 萬 知子 鳥羽 好恵
 外部委員：木村 政義 亀井 祐哉 北本 憲永
- ◆ 術前絶飲食ガイドライン改訂 WG
 W G 長：祖父江和哉

広報委員会

担当常務理事：萬 知子
 委員 長：内田篤治郎
 副委員 長：鈴木 孝浩
 委員 員：香取 信之 川久保弥知 杉田 道子 高雄由美子 高木 俊一
 田辺瀬良美 中澤 春政

麻酔博物館委員会

担当常務理事：小澤 章子
 委員 長：上林 卓彦

委員：奥富 俊之 尾前 毅 香河 清和 金子 武彦 澤村 成史
土手健太郎 牧野 洋 美馬 裕之
オブザーバー：松木 明知 齋藤 繁

〔麻醉博物館 館員ボード〕

館長：齋藤 繁
館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 武田 純三 土手 健太郎
中島 芳樹 牧野 洋 松木 明知

<特別委員会>

【周術期管理チーム委員会】担当常務理事：松本美志也

委員長：松本美志也
委員：川口 昌彦 川股 知之 坂口 嘉郎 鈴木 孝浩 鈴木 武志
平田 直之 廣瀬 宗孝 藤村 直幸
日本手術看護学会：木村 三香 山本 千恵 横田富美子
日本病院薬剤師会：柴田 ゆうか 舟越 亮寛
日本臨床工学技士会：荒木 康幸 北本 憲永 小西 康司
日本口腔外科学会：栗田 浩 関谷 秀樹

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：松本美志也
副委員長：坂口 嘉郎 鈴木 武志
委員：井上 聡己 大江 克憲 大槻 明広 北野 敬明
日本手術看護学会：木村 三香 横田富美子
日本臨床工学技士会：北本 憲永 佐々木慎理

◆ 周術期管理チーム試験問題作成 WG

WG 長：川股 知之
メンバー：飯田 良司 石田 高志 石田 裕介 岡田 雅子 上村 友二
神谷 岳史 北村 咲子 酒井 陽子 柴崎 雅志 杉山 大介
鈴木 昭広 瀬戸口秀一 高田 真二 谷奥 匡 遠山 悟史
藤本 昌史 松浦 正 簗島 梨恵 安田 篤史 矢田部智昭
日本手術看護学会：岡崎 政秀 野瀬 珠美
日本臨床工学技士会：荒木 康幸 内山明日香

◆ 周術期管理チームテキスト作成 WG

WG 長：鈴木 孝浩
メンバー：河野 達郎 佐藤 暢一 恒吉 勇男 道宗 明 中澤 春政
日本手術看護学会：山口 円
日本病院薬剤師会：柴田 ゆうか
日本臨床工学技士会：藤田 智一

◆ 周術期管理チームセミナーWG

WG 長：坂口 嘉郎
メンバー：小原 伸樹 鎌田ことえ 川瀬 宏和 鈴木 聡
関 博志 田村 岳士 内藤 祐介
長坂 安子 長瀬 清 原 将人

術後疼痛管理研修作業部門

部門長：川股 知之

部門員：坂口 嘉郎 ハシチウオヴィッチ トマシュ

オブザーバー：松本 美志也

【特定行為研修管理委員会】担当常務理事：小澤 章子

委員長：廣瀬 宗孝
委員：大瀧 千代 川越いづみ 川真田樹人 北川 裕利 佐藤 暢一

戸部 賢 内藤 祐介 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明
日本手術看護学会：ミルズしげ子
外部委員：鈴木敬一郎 山口 円

【特定行為研修審査委員会】担当常務理事：小澤 章子

委員長：廣瀬 宗孝
副委員長：北川 裕利 内藤 祐介
委員：秋吉浩三郎 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明
外部委員：山口 円

【支部委員会】責任者：山蔭 道明

委員：新山 幸俊 岡本 浩嗣 内田篤治郎 中島 芳樹 上林 卓彦
田中 克哉 原 哲也

【支部運営委員会】

〔北海道・東北支部〕

支部長：新山 幸俊
総務委員：山内 正憲
学術委員：井上 聡己 枝長 充隆 黒澤 伸 鈴木 健二 中根 正樹
森本 裕二
教育委員：櫛方 哲也 牧野 洋 山蔭 道明 横山 健
広報委員：斉藤 仁志 下田 栄彦 外山 裕章

〔東京支部〕

支部長：内田篤治郎
総務委員：小森万希子 萬 知子
学術委員：井関 雅子 小竹 良文 鈴木 孝浩 山田 高成
教育委員：内田 寛治 内野 博之 大江 克憲 香取 信之 武田 吉正
広報委員：川越いづみ 澤村 成史 長坂 安子

〔関東・甲信越支部〕

支部長：岡本 浩嗣
総務委員：川真田樹人 木下 真弓 後藤 隆久
学術委員：磯野 史朗 井上莊一郎 奥田 泰久 小山 薫 馬場 洋
教育委員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護
広報委員：北村 享之 山口 重樹

〔東海・北陸支部〕

支部長：中島 芳樹
総務委員：小澤 章子 祖父江和哉 西脇 公俊
学術委員：高橋 完 藤田 義人
教育委員：賀来 隆治 紙谷 義孝 高田 基志 西田 修
広報委員：重見 研司 高橋 麗子 谷口 巧

〔関西支部〕

支部長：上林 卓彦
学術委員：佐和 貞治 廣瀬 宗孝 藤野 裕士
教育委員：川股 知之
広報委員：北川 裕利
委員：足立 健彦 上山 博史 江木 盛時 小幡 典彦 川口 昌彦
中嶋 康文 南 敏明 美馬 裕之 森 隆

〔中国・四国支部〕

支部長：田中 克哉
総務委員：松本美志也

学 術 委 員 : 大槻 明広 河野 崇 堤 保夫
 教 育 委 員 : 荻野 祐一 中塚 秀輝 二階 哲朗
 広 報 委 員 : 森松 博史 萬家 俊博
 委 員 : 奥 格 多田 文彦 田中 裕之 日高 秀邦

〔九州支部〕

支 部 長 : 原 哲也
 総 務 委 員 : 坂口 嘉郎 恒吉 勇男 山浦 健
 学 術 委 員 : 秋吉浩三郎 平木 照之 平田 直之
 教 育 委 員 : 垣花 学 北野 敬明 堀下 貴文 松永 明
 広 報 委 員 : 泉 薫 杉田 道子 藤村 直幸 増田 美奈

5. 2023年度関連諸団体委員等一覧

【日本医師会】

疑義解釈委員会: 齋藤 繁

【日本医学会】

評 議 員 : 山蔭 道明
 連 絡 委 員 : 萬 知子
 医学用語連絡委員: 岡本 浩嗣
 代 委 員 : 小竹 良文
 利益相反委員: 萬 知子

「日本医学会創立 120 周年記念事業」連絡担当: 小森万希子
 第 31 回日本医学会総会学術委員会 U40 メンバー: 廣瀬 佳代

【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部 長 代 理 : 溝渕 知司
 委 員 : 近江 禎子 川越いづみ 木下 真弓 小森万希子 中塚 秀輝
 廣田 和美

【日本専門医機構麻酔科領域専門医委員会】

委 員 : 坂口 嘉郎

【日本専門医機構麻酔科領域研修委員会】

委 員 : 坂口 嘉郎

【外科関連学会協議会】

委 員 : 落合 亮一 齋藤 繁 森崎 浩
 懇 談 会 : 佐藤 哲文 鈴木 宏昌 竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処 置 委 員 会 委 員 : 寺嶋 克幸
 処置委員会 (処置コーディング WG) : 澤 智博
 検 査 委 員 会 委 員 : 久利 通興
 検査委員会 (生体検査 医療材料 WG) : 久利 通興
 手 術 委 員 会 委 員 : 横田 美幸
 実 務 委 員 会 委 員 : 横田 美幸
 手術委員会 (コーディング WG) : 澤 智博
 手術委員会 (医療材料・医療機器 WG) : 岩瀬 良範
 麻 酔 委 員 会 委 員 長 : 山田 芳嗣
 麻 酔 委 員 会 副 委 員 長 : 横田 美幸
 麻 酔 委 員 会 委 員 : 森崎 浩 岩瀬 良範

麻酔委員会（全身麻酔WG）：横田 美幸 森崎 浩 岩瀬 良範
麻酔委員会（麻酔深鎮静WG）：横田 美幸 森崎 浩 天谷 文昌
総務委員会委員：山田 芳嗣

【日本外科系連合学会】
総務委員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】
心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一
非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】
理事：小澤 章子
監事：多田 恵一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】
派遣委員：川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】
監事：小坂橋俊哉

【全国MC協議会連絡会世話人会】
世話人：多田 恵一

【医療安全全国共同行動】
委員：垣花 学

【禁煙推進学術ネットワーク】
委員：飯田 宏樹

【日本医療安全調査機構】
委員：藤村 直幸
北海道・東北ブロック：新山 幸俊
関東ブロック：岡本 浩嗣
東京ブロック：内田篤治郎
東海北陸ブロック：中島 芳樹
近畿ブロック：上林 卓彦
中国四国ブロック：田中 克哉
九州ブロック：原 哲也

【ICD制度協議会】
委員：白石 義人

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】
委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】
委員：山内 正憲 長坂 安子 山本 俊介

【JIS原案作成委員会委員】
委員：森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】
委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：森松 博史

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齊藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会】

理事：大瀧 千代 奥田 泰久 山内 正憲

【無痛分娩関係学会・団体連絡協議会】

委員：奥田 泰久 水野圭一郎 山内 正憲
有害事象分科会：奥富 俊之 山内 正憲
研修体制分科会：大瀧 千代 奥田 泰久 角倉 弘行
情報公開分科会：川真田樹人 水野圭一郎

【一般社団法人 臨床試験医師養成協議会】

理事：山蔭 道明

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

○Council

Executive Committee：齋藤 繁

○Committee

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行
Paediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文
Pain Management Committee：天谷 文昌

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：山蔭 道明

【厚生労働省 歯科医師の医科麻酔科研修に関する検討会】

委員：内野 博之
委員：萬 知子
オブザーバー：山蔭 道明

以上

9. 事 業 監 查 報 告 書

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2024年 4月 24日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 間宮 敬子 

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査報告書

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

2024年 4月 24日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 溝淵知司 

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監査報告書

2024年 4月 24日

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明 殿

公認会計士野口和秀事務所

公認会計士 野口和秀



私は、公益社団法人日本麻酔科学会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録(以下「財務諸表等」という。)について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して、公益社団法人日本麻酔科学会の当該財務諸表に係る期間の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人日本麻酔科学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上